

社会福祉法人 育明会

事業所別 報告書

平成 29 年度

事業報告書

特別養護老人ホーム

レジデンシャル百合ヶ丘

介護老人福祉施設（ユニット型）

介護老人福祉施設（従来型）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

目次

1. 財務	・・・	2
2. 組織	・・・	2
3. サービス	・・・	3
4. 事務管理体制	・・・	4
5. 防災対策及び施設の保全対策	・・・	5
6. リスクマネジメント	・・・	5
7. 諸規定の遵守及び検討	・・・	5
8. 人材育成	・・・	5
9. 利用者の権利擁護	・・・	7
10. 地域との連携	・・・	8
11. 委員会活動	・・・	11
12. 行事・クラブ活動	・・・	11
13. 援助サービス各論	・・・	12
14. 短期入所生活介護サービス	・・・	21
15. 平成29年度活動一覧	・・・	22

1. 財務

(1) 本入所の計画的受け入れとショートステイの稼働

特養入居については早期の満床を目指したが、7月中旬以降の新規受け入れはストップせざるを得ない状況となり、年間稼働率は53.8%であった。また、ショートステイは安定的な稼働を目標としたが、今年度中の稼働は見送ることとなり、いずれも当初の計画通りに進めることができなかった。

理由はサービスの受け皿となる介護職員の体制を整えることができなかったことによるものであり、百合ヶ丘の一番の課題となっている。次年度は介護職員の体制整備が急務であり、全力で取り組んでいく。

(2) 介護職員処遇改善加算に伴う賃金体系の確立

介護職員処遇改善加算Ⅰを取得し、当初から一部本俸化を図り、介護職員の人材確保を目標の一つに据えて適切に支給した。

次年度以降も継続して取り組んでいく。

(3) 法人事業計画に基づく財務諸表の健全化

貸借対照表や収支計算書及び監事監査意見書等の公表は、事業所単位としては初めてとなるが、何人も閲覧できるようホームページで公表していく。

2. 組織

(1) 組織力の強化

開設後間もなく、当時の施設長が体調を崩して休養することとなり、続いて当時の介護係長が休養した。そのことが職員に与えた影響は大きく、退職が相次いだ。組織の再編と立て直しを図るため、統括施設長が百合ヶ丘に滞在する時間を多くし、レジデンシャル常盤台からの人事異動により職員の補充を行った。8月には人事異動にて新たな施設長が就任、介護支援課3係を統括する係長を置き、組織体制を整備した。10月には主任・副主任を任命し、組織体制に基づく報告・連絡・相談を徹底し連携力の強化に努めた。

施設長をはじめとする管理・監督職員で構成した管理職会議及び副主任を加えた拡大管理職会議の開催や、職員会議を定例開催することにより、施設運営全般に関する情報の共有を図ることに努めたこともあり、徐々に安定してきた。今後も職員間の連携力の強化に努めたい。

(2) 人材の確保とキャリアアップ

人材の確保には年間を通して苦戦した。ハローワークでの求人は全く反応がなく、求人広告や求人誌への掲載、求人サイトの活用も積極的に行ったが、期待する効果は得られなかった。そのため、人材派遣や人材紹介に頼らざるを得ない状況となり、安定した人材の確保が困難であった。

そのような中でも、職員個々の能力開発やキャリア形成を図るため、喀痰吸引等研修をはじめとする各種研修の受講を進めた。履歴書に記載できる資格を取得することにより、専門職としての自信が芽生え、高い就業意欲とロイヤリティーの醸成に努めた。

(3) 様々な形態での情報発信

ホームページとスタッフブログ等のインターネットを活用しての情報発信は今後の課題である。次年度は広報委員会を中心とした担当者を設け、第三者の目線でタイムリーな情報の発信に努めたい。

3. サービス

人材の確保及び定着に課題の多い1年であったが、その影響による入居者への施設サービスの低下を防ぐために、姉妹施設であるレジデンシャル常盤台より、多くの支援をいただいた。日常のケアサービスの低下を防ぐため、6月～3月の期間中、交換研修として延べ345名の介護職員の協力をいただいた。また、キッズフェスタやサマーフェスタにおいては、ヒト・モノ両面での支援を受け、盛況に開催することができた。

そして、9月の敬老祝賀の集いにおいては、中華バイキングを実施し、理事長自ら腕を振るってくださり、入居者にも大変喜んでいただけた。

1年を通して施設サービスの低下を招くことなく対応できたのは、法人全体で百合ヶ丘を支えていただいた結果であると感謝いたします。

(1) 尊厳と信頼と安全・安心なサービス提供

リスペクトケア—あらゆる場面においても敬意を持って対応する—をスローガンに掲げ、“尊厳”“信頼”“安全”“安心”を意識したサービスの提供に努めた。安全ベルトの装着、4本柵、エレベータ、居室の施錠等、心理的、身体的拘束を一切行わないケアが提供できた。

(2) 利用者、家族ニーズの把握と対応

利用者・家族の個別的なニーズについては、利用契約時における各種アセスメントと、入居後に行われるケアプラン会議などで利用者及び家族のニーズの把握に努め、より個別的なケアプランに反映させるよう努めた。

また、施設サービスや運営・管理などに関するニーズについては、「家族懇談会」の開催や施設内4カ所に意見箱を設置しニーズ把握に努めた。今後はレスポンスの良いフィードバックに努めたい。

(3) 質の高いサービスの提供と標準化

管理監督職を中心とした管理職会議において施設運営の舵を取り、サービスの水準を高く、安定させることに努めた。また、日々の申し送りにおける管理者によるスーパービジョンにより、職員の気付きを促すとともに、ケアの方向性を示すことに努めた。職員個々によりサービスの質のばらつきを無くすためにも、次年度は委員会活動を展開し、サービスの標準化に努めたい。

4. 事務管理体制

(1) 施設設備等の管理については維持管理を専門業者に委託し、定期的な点検を実施した。また、1年点検において設備の不具合、瑕疵点検を行い、施設設備の維持管理に努めた。

(2) 消耗品については、適切な在庫管理に努めるとともに、品目の見直しや購入先の見直しを行い、コスト削減に努めた。

5. 防災対策及び施設の保全対策

(1) 防災訓練

今年度中の施設での実施には至らなかったが、川崎市健康福祉局による防災無線での伝達訓練に参加し、非常災害時の情報伝達方法について確認を行った。次年度は施設での防災訓練を行い、職員の防災意識の向上に繋げたい。

(2) 防災減災研修

委託業者による防災監視盤の取り扱いについてのレクチャーを受けた。次年度は職員への周知を図るとともに、防災、減災に向けた研修を実施したい。

(3) 備蓄品の整備

災害時に使用するヘルメット、ライトや誘導灯は整備したが、災害用食品の備蓄品については次年度に整備したい。

(4) 地域防災協定の締結

地域防災協定の締結は消防署の仲介ではなく、施設と自治会にて締結する形となるため、次年度は近隣自治会と協議の場を設け具体的に組みたい。

6. リスクマネジメント

- (1) 苦情解決責任者を中心に、意見や苦情を汲み上げる体制を整えてきた。苦情報告書による情報共有も着々と根付いてきている。
- (2) 事故報告書、ヒヤリハット報告書による情報の共有は図れているが、事故の分析までには至らなかった。次年度は委員会を中心に事故の分析を行い、事故防止に努めたい。

7. 諸規定の遵守及び検討

介護保険関係法令を遵守した運営を行った。また、慶弔休暇、有給等の休暇制度について、いずれも諸規定を遵守し適切な処理を行った。

8. 人材育成

29年度新規採用職員（オープニングスタッフ）に対し、「虎の穴大作戦」と称した、約60時間に亘る基礎的な研修を実施した。また研修終了後、4月中にレジデンシャル常盤台での実習を行い、育明会のケアを深める機会を設けた。また、中途採用職員については、虎の穴大作戦プログラムの一部を新入職研修として実施した。

職員個々のスキルに合わせた教育としては、チューター制によるOJTを実施した。

感染症及び食中毒対策など介護福祉施設の運営基準に則った研修も定期的実施した。

意欲的に自己研鑽に励んで欲しいとの考えの下、研修参加者には参加ポイントを発行し、年間取得ポイントの多い職員6名を、育明会開設記念感謝の集いで、常盤台職員と合同で表彰、副賞を贈呈した。

<平成 29 年度 虎の穴大作戦 ～御養育プログラム～ >

日 程	内 容	講 師
3月26日(日)	「ようこそ！チーム育明会」	高橋常務理事
	社会福祉法人育明会 法人理念	理事長
	レジデンシャル常盤台オリエンテーリング	外池副施設長
4月1日(土)	事業計画について	高橋施設長
	就業規則について ～事務課のお仕事～	奥村事務係長
	ケアワーカーのお仕事 その1	廣瀬介護係長
4月3日(月)	高齢者の理解 其の壱	高橋施設長
	育明会のチームケア	外池副施設長
	ケアワーカーのお仕事 その2	廣瀬介護係長
	チームケア チーム育明会の役割分担	間宮エイド統括
	チームケア クリーンエイドのお仕事	里吉リーダー
4月4日(火)	チームケア 洗濯エイドのお仕事	小島リーダー
	高齢者の理解 其の弐	高橋施設長
4月6日(木)	カフェマルシェ	今井管理栄養士
	高齢者の理解 其の参	高橋施設長
	チームケア 相談係のお仕事	佐藤相談係長
	レクリエーションリハビリ	佐藤機能訓練士
4月7日(金)	事務課のお仕事	奥村事務係長
	チームケア ナースのお仕事	川野看護係長
	バイタルサインチェックについて	川野看護係長
	ボランティア連携 民謡クラブ	外池副施設長
4月10日(月)	民謡を歌おう	ボランティア講師
	スネーククッションを活用したポジショニング	佐藤機能訓練士
4月11日(火)	チームケア ナースのお仕事パートⅡ	川野看護係長
	食事あれこれ	今井管理栄養士
	食事介助の基礎	今井管理栄養士
	口腔ケア	横浜市歯科医師会
4月13日(木)	オムツの使用について	オムツ業者
	感染症対策研修 標準予防策 手洗いの実践	高橋幸雄先生
	チームケア キッチンエイドのお仕事	太田リーダー
	チームケア リネンエイドのお仕事	近藤リーダー
4月14日(金)	チームケア まとめ	外池副施設長
	事例から考える事故防止と権利擁護	高橋施設長
	移乗介助の基本	

4月17日(月)	レジデンシャル百合ヶ丘オリエンテーション	高橋係長
	レジデンシャル百合ヶ丘が目指すもの	松室室長
	ケアプランの作成手順	高橋係長

<平成29年度 研修ポイントゲッター>

順位	氏名	ポイント	順位	氏名	ポイント
1位	東山 明美	28	3位	*鈴木 秀雄	24
1位	*大金 美保	28	3位	*本間 智恵	24
2位	*山中 辰	26	4位	鈴木 尚也	23
2位	*米田 昭子	26	4位	寺園 英之	23
3位	ディヴァアリーナ	24	4位	山田 翔太	23
3位	*鈴木 拓也	24			

9. 利用者の権利擁護

(1) 成年後見制度の活用

利用者の権利を守ることを第一に考え、財産管理及び契約行為を代行する成年後見制度の活用を進めた。成年後見制度の活用の仕方や申し立てに関する相談にも応じ活用を促した。

(2) 預り金の適正な保管と管理

預り金管理規定に基づき、預貯金及び小口現金の適切な管理、出納を行い、本人及び家族に対し毎月書面にて報告した。また、銀行と施設間における管理規定を設け、入居者の預り金の管理を厳正に行った。

(3) 社会参加

10月には、選挙立会人の下、不在者投票を行った。事前の意思確認と準備、当日の投票と対応した。

10. 地域との連携

(1) 社会資源としての地域連携

地域の子供たちや住民が気軽に足を運べ、集える施設を目標に、1番街地域交流スペースではカフェマルシェを運営し、多くの方に利用していただいた。特に西塔之越自治会の方々には、自治会各部会の会合、自治会役員会や総会などでマルシェを活用いただいた。

また、百合ヶ丘地域包括支援センターからの要請にて、東百合丘地区の認知症カフェとして、10月より月1回の頻度で定例化されたことをはじめ、麻生区役所地域支援係主催の親子サロンを開催するなど、マルシェの活用が進んでいる。次年度からは健康体操教室の会場としての活用が決まっている。その他自治会のサークル活動の会場として使用の申し出も受けており、地域の社会資源として広くPRすることができた。

(2) 施設見学を受け入れ

施設入所を検討しての見学が多いが、民生委員や一般学生の見学会の受け入れも行った。また、圏域内にある長沢小学校からの申し出にて、4年生の見学及び交流会を3クラス3日間に分けて行った。車椅子の操作説明と体験も行い、実際に入居者の車椅子を押しての施設内散歩を行い、交流を図った。その後、入居者に会いに来る児童や、マルシェで友達と宿題をしたり、遊ぶ児童も増え、地域の子供たちが気軽に足を運べる施設になりつつある。

(3) 実習生受入状況

介護専門職の養成という施設の社会的使命を果たすべく、実習生の受け入れを行った。今後も専門職の養成に寄与していきたい。

<実習生受入実績>

実習種別	人数	養成校
高齢者施設実習	2名	川崎市消防局
社会福祉士養成	1名	大妻女子大学

1 1. 委員会活動

委員会活動については、運営基準に則った委員会からスタートした。各サービス分野別の委員会は、次年度から本格始動させ、サービスの見直しと質の向上、標準化とマニュアルの整備を進めていきたい。

1 2. 行事・クラブ活動

(1) 行事実施状況

入居者の楽しみ、そして地域との交流を目的に行事を開催した。そして、喜び、楽しみを共有し、職員間の連携力の強化に繋げることを意図して企画してきた。

- 5月5日 【キッズフェスタ in マルシェ】
レジデンシャル常盤台のサマーフェスタで培ったノウハウを元に、こどもの日にちなんで、地域の子供のための祭りを開催した。子供たちを実行委員とし、職員は子供たちをフォローする形を取った。自治会の協力によりポスターの掲示と回覧を行い、大勢の子供たちが集まり、大盛況であった。
- 6月13日 【カフェマルシェ オープニングイベント】
カフェマルシェのオープンにあたり、レジデンシャル常盤台でお琴マルシェのボランティアをしてくださっている米田様を招き、お琴の演奏を聴きながら、喫茶を楽しんでいただいた。以降は水曜日を定休日として営業をスタートした。
- 6月30日 【ミュージックピアッツァ 開始】
音楽療法士の玉本先生を招き、ピアノの伴奏に合わせて懐かしの歌を歌い、思い思いに打楽器を演奏するなど、音楽療法をスタートした。以降は毎月第二第四火曜日に定例開催とした。
- 8月20日 【サマーフェスタ in マルシェ 2017】
レジデンシャル常盤台からの全面協力を得て、育明会の夏の風物詩と言えるサマーフェスタを百合ヶ丘でも開催した。地域住民はもちろん、近所のグループホームにも声を掛け、入居者、家族、地域一体となって楽しんだ。

- 9月13日 **【敬老祝賀の集い】式典の部**
入居者の皆様のご長寿をお祝いし、100歳のお祝と、男女それぞれ最高齢者に理事長より記念品を贈呈した。また、施設より全入居者に、写真や手紙を貼ることができるコルクボードをプレゼントした。
- 【中華バイキング】会食の部**
佐原理事長による中華料理のフルコースを提供。目の前で調理のパフォーマンスと、出来立て熱々の料理に、利用者も大満足されていました。しばらくの間、利用者は理事長のことを施設のコックさんと思っていました。
- 9月26日 **【民謡の集い】（民謡クラブ開始）**
レジデンシャル常盤台でもボランティアをしてくださっている秀美会会主の大塚先生を招き、民謡クラブをスタートした。初回は民謡の集いとして、尺八、三味線、太鼓の伴奏と大塚先生の民謡を披露いただいた。以降は月2回の定例開催とした。
- 10月26日 **【長沢小学校4年生交流会】10/31、11/2**
4学年3クラスが1クラスずつ来所し、施設の説明、車椅子の特徴と取り扱い方の説明、操作、入居者との散歩と交流、質疑応答など、約1時間30分の交流会を実施した。
以降、利用者に会いに来る児童や、気軽に友達とマルシェを利用する児童が増えた。
- 10月27日 **【オレンジカフェマルシェ開店】認知症カフェ**
百合ヶ丘地域包括支援センターの事業の一環として、認知症カフェの東百合ヶ丘地区の会場としてマルシェを提供することとなり、月1回第四金曜日の午後に実施している。
- 12月10日 **【もちつき大会】西塔之越自治会主催**
これまで公園で行っていたもちつき大会を、当施設エントランスを会場に行うこととなり、当施設入居者も参加させていただいた。搗き立てのお餅を、餡子餅、辛味餅にし、常盤台農園産のお新香と合わせて提供、大変喜ばれていた。

- 12月23日 **【クリスマスバイキング】**
メインにはローストビーフとローストポークとローストチキンの3種類のお肉を、デザートは数種類から選べるケーキを、食べただけお召し上がりいただくというのが育明会流のおもてなし。入居者からは笑顔が溢れ、とても喜んでいただけました。
- 1月1日 **【元旦祝膳】**
百合ヶ丘のお祝膳は遅めの朝ごはんとして提供、理事長の挨拶から新しい年がスタート。お屠蘇で乾杯し、お節料理をゆっくりとお楽しみいただきました。
- 1月7日 **【新年祝賀の集い】**
大森はやし会の皆様のご厚意により、百合ヶ丘にも獅子がやってきました。入居者お一人お一人、家族も職員も、厄を払っていただきました。
- 2月3日 **【節分豆まき】**
常盤台から鬼が13体襲来し、入居者と家族、職員が一斉に豆を撒き、邪鬼を退治しました。鬼が退散して、百合ヶ丘にも春が訪れました。
- 2月14日 **【長沢小学校4年生交流会】**
10月の交流会後、4年生代表18名が来所し、様々な質問に答えました。風邪の流行期ということもあり、入居者との交流は控えることになりました。
- 2月20日 **【桃の節句 雛壇飾りつけ】**
雛壇の7段飾りや、かわいいお雛様を各番街に飾り、桃の節句を迎えました。飾りつけの際は入居者も手伝って下さり、思い出話に花を咲かせながら、楽しく飾り付けました。

(2) クラブ活動実施状況

音楽療法士の玉本先生によるミュージックピアッツァと、秀美会会主の大塚先生による民謡クラブを下記のように実施した。また、機能訓練指導員によるレクリエーションの一環としてカラオケも実施した。歌や音楽はどなたでも楽しめるクラブ活動として、多くの方が参加され、楽しい時間を過ごされていた。

クラブ活動内容	実施回数	延べ参加人数
民謡クラブ	11回	322名
カラオケ	12回	240名
ミュージックピアッツァ	18回	495名

1 3. 援助サービス各論

(1) 介護係

○医療ケアと重度化対応について

- ・胃瘻、喀痰吸引、在宅酸素、インスリン、バルンカテーテル留置、人口膀胱など、看護職員との連携、情報共有を図りながらケアを行う事ができた。
- ・褥瘡予防については看護職員、機能訓練指導員と連携し、適切なポジショニングや清潔保持に向けてケアを行った。発生した場合は速やかに対策を講じ、迅速な対応を行う事で、早期の治癒、予防策の検討、実施を行う事が出来た。

○チームケア力の向上

- ・固定配置をせずに流動的に職員を配置することで、全体の利用者の情報を共有するとともに、共通の認識を持ってケアに当たることが可能となった。
- ・CW 会議を開催することで、個々が感じている課題や問題を意見として話し合える環境が整いつつある。今後も検討、意見交換を行いより良いケアにつなげていきたい。
- ・各職種、ケアエイドを含めて「ほう・れん・そう」を大切にすることを意識してきた。一つのチームとして同じ情報を全員で共有することに努めた結果、全体で入居者のケアを考える事ができるようになってきた。

○業務日誌や看護介護記録等の記録について

- ・看護介護記録などの経過記録については開設当初それぞれの認識で記録を行っていたが、直接的な指導、助言などを繰り返す事やレジデンシャル常盤台からの異動職員による指導、助言により徐々に「記録の意味」を理解した記入ができるようになってきている。次年度以降は研修などを通して、より記録の理解を深めるとともに、ケアにつながる記録が記入できるようにしていきたい。

○感染症予防について

- ・虎の穴大作戦や季節感染症対策研修の実施により、吐物処理やインフルエンザ対策の周知を図った。流行期に入り、入居者1名がインフルエンザに罹患したが、感染症予防委員会を中心に迅速に対応、対応策の周知徹底を図り、感染を拡大させることなく終息させることができた。以降も新たな感染もなく経過している。
- ・感染症予防研修をはじめ、開設当初から、家族を含めた来所者にも、手洗いとうがいを促し、協力を呼び掛けてきたことで、現在では促さなくても自主的に手洗いとうがいをしてくださっている。この取り組みにより、感染症が予防できているとも言え、今後も継続して取り組みたい。

○組織横断的なサポートによる円滑なケアの継続

- ・レジデンシャル常盤台から多くの応援をいただいたことで、入居者のケアが滞ることなく、継続して提供することができた。法人全体が一つのチーム（チーム育明会）として、百合ヶ丘を支えてくださっていることに感謝するとともに、その組織の一員として誇りを持って業務に勤めたい。
- ・応援職員の報告書により、当施設の課題などが詳細に把握でき、その後の現場指導に活かされている。

○チューター制による新入職員の指導

- ・副主任以上がチューターを担うことで、介護技術や記録など、標準化された指導に努めてきた。しかし、独り立ちする際の不安の解消など、新入職員個々の状況に合わせた指導が不十分であると感じている。また、チューター同士の情報共有が不十分であることが課題として見えてきたため、次年度は新入職員の指導要領を作成し、チューター職員を対象とした研修を実施したい。

(2) 看護係

○医療的ケアと対応

- ・開設当初より、医療依存度の高い入居者の受け入れを行った。受け入れにあたっては看護と介護の連携が必須であり、情報の共有、医療的な知識・技術のサポートなどを図りながら、多職種協働で対応した。
- ・昨年度 11 ヶ月中、入院者が“0”であった月が 4 ヶ月あったことや、年間を通しての救急車要請が“0”であったことは、特筆すべきことだと思っている。日常の健康管理のためには、看護と介護の緊密な連携が必要であり、その成果だと感じている。これからも連携を大事に努めたい。
- ・高齢者に多い脱水や尿路感染を防ぐため、いつでも気軽に水分を補給することができるよう、各番街にウォータージャグを設置した。また、嚥下状態に合わせて、水分補給用のゼリー（お茶・イオンゼリー）を用意し、水分を摂取しやすい環境を整えた。カフェマルシェの利用も、入居者の水分補給の手段として有効だと考えている。

○医師や医療機関との連携

- ・協力医療機関としてたま日吉台病院と契約することができ、配置医として、その協力医療機関であるたま日吉台病院から飛田医師（内科）を派遣いただき、毎週火曜日に診察を行っている。また、紫雲会横浜病院の田村医師（精神科）にもご協力いただけることとなり、平成 30 年 1 月より、月 2 回第 1、3 金曜日に診察を行っている。
- ・利用者の状況をみながら、適宜、家族と主治医との面談の場を設け、家族の意向の確認に努めた。主治医と直接相談することで、入院検査・治療の方向付けと対応もスムーズに行うことができた。
- ・特に、協力医療機関であるたま日吉台病院へ通院・入院については、地域連携室を窓口とした病院との連携により、スムーズに対応していただけている。
- ・精神科医師の配置により、認知症をはじめとする精神症状が悪化した場合の相談や対応もスムーズに行えた。
- ・医療的ニーズが高まる中、緊急時の受診先の確保は急務であり、医療機関とのさらなる連携が必要だと感じている。

○口腔機能の維持向上

- ・川崎市麻生区歯科医師会の協力を得て、適宜、歯科診療に繋げることができた。口腔機能の維持は全身状態を左右する重要な要素であるため、施設の歯科医師とも連携し、利用者の口腔機能の維持向上及び口腔衛生に努めたい。

- ・口腔機能の維持向上、嚥下機能の改善を目的に、昼食前と夕食前に口腔体操を実施するようにした。時間になると入居者から声が掛かるくらい、入居者も関心をもって取り組んでおり、定着した取り組みとなっている。

○看取りの対応

- ・看取りのニーズが高まる中、医師をはじめとする体制が整っておらず、現在は看取り対応ができない状況となっている。看取り対応の医師の確保は、次年度喫緊の課題である。
- ・看取りに関する職員の意識向上や知識の向上を図るため、次年度は研修を開催し、看取りに関する知識や意識を高めるように努めていく。

○褥瘡対策について

- ・介護との連携を図り、褥瘡予防と治療に努めてきた。褥瘡を予防するためには日々の観察による異常の早期発見と、適切な対応が必要であるため、介護職員と連携して対応していく。また、再発予防のためオムツの使用についての研修会を開催。適切なケアを行えるように努めた。

○感染症及び食中毒対策について

- ・インフルエンザに罹患した入居者が1名いたが、重症化することなく治癒された。また同ユニットの入居者には家族同意の上、タミフルの予防投与を行い、蔓延、拡大を防ぐことができた。
- ・感染症及び食中毒の予防については、施設全体で高い意識を持って取り組む必要があることだが、年間を通してインフルエンザ罹患が1件だけであったことは、職員研修の成果だと考えている。

○機能訓練について

- ・ベッドでのポジショニングや車椅子でのシーティングの研修や指導には、特に力を入れてきた。スネーククッション等の物品の適切な使用方法を周知するため、利用者個別に写真付きの説明書を作成した。入居者の姿勢の保持、拘縮予防・改善が図れていることにより、職員の意識も向上してきている。
- ・音楽療法の導入により入居者のレクリエーションの幅が広がり、生活の活性化につながった。
- ・カラオケ機器の導入により楽しみの幅が広がった。入居者の参加意欲も高く、毎回多くの入居者が参加された。会の途中には体操をする時間も設け、身体機能の維持向上を図った。
- ・個別機能訓練のニーズも高いため、次年度は入居者と家族のニーズに即した計画を立案、実行していきたい。

○インフルエンザワクチン予防接種

- ・11月28日と12月5日の2回に分けて、飛田医師とたま日吉台病院の協力を得て全入居者に実施した。

○肺炎球菌ワクチンの接種

- ・飛田医師により接種を希望された4名に実施した。

<入院状況> (件)

	男性	女性	計		男性	女性	計
H29年5月	0	0	0	H29年11月	2	0	2
H29年6月	2	2	4	H29年12月	1	0	1
H29年7月	0	1	1	H30年1月	0	0	0
H29年8月	1	1	2	H30年2月	0	0	0
H29年9月	1	2	3	H30年3月	0	2	2
H29年10月	0	0	0	29年度合計	7	8	15

<主な入院理由>

① 肺炎	3	② 心不全・腎不全	1
③ 尿路感染	1	④ 脱水	1
⑤ 食欲低下	2	⑥ 癌	1
⑦ 心疾患 (ペースメーカー埋込)	1	⑧ 白内障 ope	2
⑨ 骨折	3	合計	15

<入院日数>

	29年度
最長入院日数	82日間
最短入院日数	2日間
平均入院日数	19.5日

<入院先の医療機関>

たま日吉台病院（協力医療機関）	8	横浜新都市脳神経外科病院	3
新百合総合病院	1	麻生総合病院	2
聖マリアンナ医科大学東横病院	1		
合計			15

<退所数>

年間退所者数	4名	内 訳	
		医療機関	2名
		他の医療施設	1名
		在宅	1名

<医療処置・内容と人数> 平成30年3月31日

医療処置者

グレード1	1名	褥創 浣腸・摘便	1名 0名
グレード2	8名	膀胱留置カテーテル 喀痰吸引 インシュリン	3名 2名 3名
グレード3	4名	胃瘻 在宅酸素療法 点滴	3名 1名 0名

<医療指針におけるグレード>

◆グレード1

- ① 褥瘡処理
 - ② 浣腸、摘便
 - ③ 医師より1日2回のバイタルサインチェック（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度）の指示
- ・施設内で日常的に医師の指示により看護師が実施可能な医療行為です。
 - ・利用者が入居時に必要となった場合も、利用の継続が可能です。

◆グレード2

- ① 導尿、膀胱留置カテーテル、腎ろう、膀胱ろう
 - ② 人工肛門（ストーマ）
 - ③ 喀痰吸引
 - ④ インスリン注射（血糖コントロールが良好なもの）
 - ⑤ 経鼻的持続陽圧呼吸法（NCPAP）
 - ⑥ 医師より1日3回のバイタルサインチェック（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度）の指示
- ・施設での実施が可能な医療行為です。ただし、無条件ではなく、通常より医療依存度の高いケースでは、グレード3へ移行します。
 - ・入居後に必要となった場合も、病院での処理後に利用の継続が可能です。

◆グレード3

- ① 経管栄養療法（胃ろう）
 - ② 在宅酸素療法
 - ③ 脱水等に対する一時的点滴
 - ④ 利用中の事故による創傷に対する縫合処理（簡単なもの）
 - ⑤ 毎日の血糖測定とスライディング・スケールによるインスリン注射
 - ⑥ 血液透析
 - ⑦ 頻回な喀痰吸引
- ・高度な医療を必要とする為、施設内での実施は、その時点での看護師数や施設内での医療行為の総量等の影響を受ける為、条件付きで可能です。
 - ・利用者がこの医療行為が必要となった場合は、個々のケースで対応します。

◆グレード4

- ① 自己腹膜還流
 - ② 中心静脈栄養
 - ③ 悪性腫瘍患者への科学療法
 - ④ 気管切開
 - ⑤ 結核排菌者への治療
- ・高度な医療行為が必要なため、施設での実施は原則的に不可。
 - ・利用者が入居後、必要となった場合は適切な病院へ転院させ、この医療行為を必要とする限りは施設へ再入居することはできません。

(3) 相談支援係

施設の総合窓口として、利用者や家族はもちろん、地域、各介護保険事業者、行政等からの問い合わせ等にワンストップで対応することを目的に各相談業務を行っている。これからも施設の顔として前線に立って役割を果たしていく。

◎入退所業務（入所退所状況、利用稼働率参照）

- ・入所、退所状況…年間入所者数 56 名、年間退所者 2 名
- ・年間平均稼働率 53.8%
- ・退所に際しては、利用者の状態把握と合わせて家族の意向を最大限尊重し、課題を一つ一つクリアしながら調整と相談を行った。

◎ケアマネジメント業務

- ・利用者本人と家族を交えたケアプラン会議を実施してきた。
- ・施設サービス計画書の作成については、年間を通して計画的に作成及び更新を図るため、年間スケジュールを作成し取り組み始めたが、計画通りに作成することができなかった。次年度以降は改善したい。
- ・モニタリングについては、より次の更新に生きるモニタリングとなるよう、次年度以降に見直しを図りたいと考えている。
- ・川崎市の実地指導にて、ケアプランの作成について一部指摘があったため、指摘内容に則り対応していく。

◎家族のニーズ把握と情報開示（家族懇談会の主催）

平成 30 年 3 月 24 日（29 家族 40 名参加）

テーマ・入居者状況の説明

- ・介護保険制度改正に伴う重要事項の変更について
- ・預かり金について

◎介護保険関係申請代行業務

- ・要介護認定や各種介護保険関係の申請代行、各種手続きの補助を行った。介護保険、医療の各種認定証はそれぞれ更新申請時期が異なるため、有効期限を把握し、必要な手続きが速やかに行われるよう努めた。

◎その他

- ・カフェマルシェ、クラブ活動、年間行事に対応した。

<利用者状況>

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

①年齢

最高年齢	100	男性	97
		女性	100

最低年齢	60	男性	60
		女性	61

平均年齢	84.6	男性	83.6
		女性	85.7

②要介護度

平均要介護度	3.9	男性	4.0
		女性	3.8

<平成 29 年度 入所・退所状況>

人数

	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
5 月	10	20	30	0	0	0
6 月	3	17	20	0	0	0
7 月	0	3	3	0	0	0
8 月	0	1	1	1	0	1
9 月	0	1	1	0	0	0
10 月	0	0	0	0	0	0
11 月	1	0	0	0	1	1
12 月	0	0	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0	0	0
2 月	0	0	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0	0	0
合計	14	42	56	1	1	2

利用稼働率

(期間 平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	ユニット 50 床	多床室
5 月	48%	0%
6 月	78%	25%
7 月	78%	31.8%
8 月	78%	31.8%
9 月	80%	31.8%
10 月	80%	31.8%
11 月	80%	31.8%
12 月	80%	31.8%
1 月	80%	31.8%
2 月	80%	31.8%
3 月	80%	31.8%

	年間平均
ユニット	76.5%
多床室	31.12%
総合	53.81%

1 4 . 短期入所生活介護サービス

今年度は受け皿としての職員体制を整えることができず、稼働させることができなかつた。地域の居宅介護支援事業所からは開設を望む声も聞こえてきているため、次年度はなるべく早い時期に稼働させたい。

15. 平成29年度活動一覧

事業月日		内容	分類					備考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
4	1	入社式 辞令交付				○		新入職・昇格
	3	新人研修「虎の穴大作戦」		○				4/3～4/17
	18	川崎市施設検査					○	
	23	竣工記念式典					○	
	24	内覧会			○			24日、25日
5	1	レジデンシャル百合ヶ丘開所						入居者受け入れ開始
	5	キッズフェスタinマルシェ	○					
	9	飛田医師往診開始					○	たま日吉台病院より 以降毎週火曜日
6	1	ケアエイド 勤務開始				○		
	4	町内会清掃活動参加 初回					○	以降半年に1回
	13	カフェマルシェOPEN					○	
	19	施設見学			○			地域包括 民生委員8名
	30	ミュージックピアッツァ 開始	○					以降月2回予定
7	4	訪問美容ディチャーム 開始					○	17名実施
	5	かながわ高齢者福祉施設 研究大会参加		○				パシフィコ横浜にて
	6	施設内研修 「トランスファーの達人になろう」		○				同月3回開催
	7	七夕カラオケ	○					
8	4	就職フェア参加				○		みなとみらい日石ホール
	20	サマーフェスタinマルシェ2017	○					
	31	外部講師派遣					○	外池施設長 初任者研修講師

事業月日		内 容	分類					備 考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
9	1	介護サービス情報公表制度 訪問調査					○	
	13	敬老祝賀の集い	○					式典及び お祝の中華バイキング
	15	川崎人材バンクバスツアー			○			学生10名他3名
	26	おはぎ作り	○					利用者 8名参加
	26	民謡の集い	○					秀美会会主 大塚千代美先生
10	5	実習生受入					○	川崎市消防局 2名 10/5・6
	5	施設内研修「リーダー研修」	○					高橋統括施設長講師
	7	自治会 町内清掃活動					○	自治会活動に参加
	6	施設内研修 「食事形態ととろみ」		○				
	19	不在者投票実施					○	26名投票
	23	民謡クラブ 開始	○					以降月2回予定
	25	職員健康診断					○	夜勤者対象
	26	長沢小学校4年生交流会			○			以降2回実施 10/31・11/2
	27	認知症カフェ開始	○					百合ヶ丘地域包括と共同 以降月1回予定
	30	外部講師派遣					○	外池施設長 初任者研修講師
11	1	感染症対策研修						湘南泉病院 高橋幸雄先生講師 計2回
	6	外国人就職相談会					○	横浜市福祉事業経営社会主催
	14	管理者研修		○				外池施設長参加 11/14～16
	15	感染予防策研修		○				2回目、前回未研修者
	23	衛生害虫駆除					○	業者対応
	27	労働安全衛生委員会					○	産業医 初谷医師 以降偶数月開催
	30	権利擁護に関する研修		○				施設内研修

事業月日		内 容	分類					備 考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
12	7	川崎市実地指導					○	市担当5名来所
	10	もちつき大会	○					西塔之越自治会との合同開催
	17	自治会 スタンドパイプ訓練		○				西塔之越自治会主催
	23	クリスマスバイキング	○					
	25	外部研修講師		○				外池施設長
	28	仕事納め					○	
1	1	元旦祝膳	○					
	7	新年祝賀の集い	○					大森はやし会による獅子舞
	10	外部研修講師		○				外池施設長、高橋係長
	12	田村医師往診開始						紫雲会横浜病院より 以降月2回
	26	認知症サポーター養成講座					○	百合ヶ丘地域包括支援セン ター主催
	26	外部研修講師		○				外池施設長
2	1	実習生受入					○	大妻女子大学より1名 社会福祉士養成 ~3/7
	3	節分豆まき	○					常盤台より応援を得て実施
	9	鍋の日	○					ユニット単位で計3回実施 常盤台農園産 野菜使用
	14	長沢小学校4年生交流会			○			児童18名 先生3名
	26	中途入職者研修 理事長講話		○				中途入職者参加
3	3	ひな祭り	○					カフェマルシェにて 甘酒、和菓子で祝う
	13	親子サロン					○	麻生区役所主催 区保健所5名 7家族参加
	22	おはぎづくり	○					利用者、職員
	24	ご家族のみなさまとの懇談会					○	初開催 マルシェにて テーマ:介護保険制度改正等
	26	育明会感謝の集い	○					ポイントゲッター表彰など